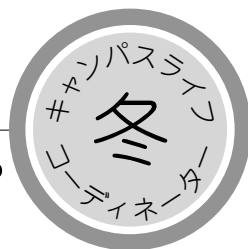


学生部

だより

2008



スポーツ施設貸出について (多摩キャンパス)

12月～1月の貸出日について

☆12月1日(月)～12月23日(火) 1時限～6時限 ※屋外は4時限まで

☆1月6日(火)～1月19日(月) // ※屋外は4時限まで

※12月24日(水)より1月5日(月)までの期間は貸出を行いません。

※1月20日(火)から2月3日(火)までの後期補講期間と卒業・学年試験期間は貸出を行いません。

春季休業中の貸出日について

☆3月16日(月)～4月9日(木) 1時限～4時限のみ

※春季休業中の土曜・日曜・祝日は貸出を行いません。

※2月4日(水)～3月13日(金)は第2体育館トイレ工事等のため貸出を行いません。

ゼミ合宿等に
最適!

春季契約宿舎宿泊受付のご案内

中央大学には、3つのセミナーハウス(大学寮)があり、授業・研究や課外活動の利用に供していますが、春季・夏季は、ゼミやサークル等の合宿が多いため、大学が利用契約を結んだ民間のホテル等を割安料金で利用できるようにしています。是非ご利用ください。

中央大学の学生として責任ある行動を心がけ、マナーを守って想い出深い合宿にしましょう。

学生部の窓口時間のお知らせ

多摩キャンパス

期 間	窓 口 時 間	
学 生 課		
～12月23日(火)	月～金 土	9:00～18:00 9:00～12:00 ※12/23(火)のみ17:00まで
1月6日(火)～1月19日(月)	月～金 土	9:00～18:00 9:00～12:00
1月20日(火)～3月31日(火)	月～金 土	9:00～12:00 13:00～17:00 10:00～12:00
厚 生 課		
～12月23日(火)	月～金 土	9:00～18:00 9:00～12:00
12月24日(水), 1月6日(火)～1月19日(月)	月～金 土	9:00～18:00 9:00～12:00
1月20日(火)～3月31日(火)	月～金 土	9:00～12:00 13:00～17:00 9:00～12:00
学 生 相 談 室		
～12月23日(火)	月～金 土	10:00～18:00 (月曜日17:00迄) 10:00～12:00
1月6日(火)～2月3日(火)	月～金 土	10:00～18:00 (月曜日17:00迄) 10:00～12:00
2月4日(水)～3月31日(火)	月～金 土	10:00～17:00 10:00～12:00

後楽園キャンパス

理工学部学生生活課		
～12月23日(火)	月～金 土	10:00～18:00 10:00～12:00
1月6日(火)～1月14日(水), 1月16日(金)～1月19日(月)	月～金 土	10:00～18:00 10:00～12:00
1月15日(木), 1月20日(火)～4月8日(水)	月～金 土	10:00～17:00 10:00～12:00
理工学部学生相談室		
～12月23日(火)	月～金 土	10:00～17:00 (水曜日17:30迄) 10:00～12:00
1月6日(火)～4月8日(水)	月～金 土	10:00～17:00 (水曜日17:30迄) 10:00～12:00

※12月24日(水)は臨時休業のため、厚生課以外は閉室となります。

※冬季休業期間(12月25日(木)～1月5日(月))の窓口業務は行いません。

※窓口時間を変更する場合には、事前に各課窓口に掲示します。

災害救援ボランティア講座 ー参加者の声ー

中央大学学生部

学生部では、前期試験が終了した直後の2008年8月3日(日)、4日(月)、5日(火)の3日間『災害救援ボランティア講座』を実施し、21名の学生が参加しました。この講座は「災害時、わが身と家族の命を守る」ため、実践的な防災の基礎知識と応急手当を学び、ひいてはボランティア活動の活性化に繋げることを目的とし、3日間、応急手当活動(東京消防庁による上級救命講習)、災害模擬体験と実技(消火訓練・地震体験・煙体験)、災害・防災について(講義等)の講座に熱心に取り組み、修了者には、災害救援ボランティア推進委員会より「セーフティリーダー認定証」が、東京消防庁より「上級救命技能認定証」が、それぞれ交付されました。

講座を修了した参加者の声をご紹介します。

◎この講座を受けて私の中の災害に対する意識が変わりました。応急手当だけではなく、災害の模擬体験や講師の方の体験談などを聞いて、災害をよりリアルに、身近に感じることができました。これからは、ここで得た知識を自分だけでなく、家族にも話し、災害の時には助け合えるようにしておきたいと思います。

(法2・女子)



AED を用いた心肺蘇生

◎自分の防災知識、意識の低さを痛感した。今回の講座を受けて、自分の視野が広がり、様々な視点を持つことができた。このような講

座を多くの人に受けてもらいたい。

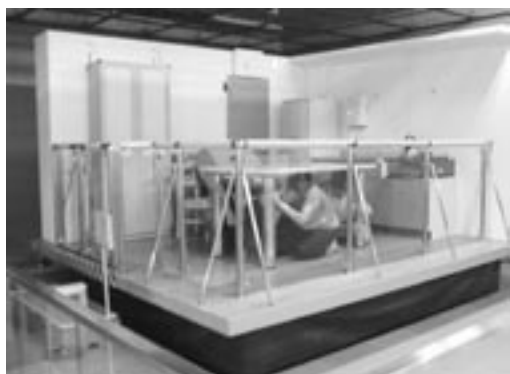
(文1・男子)

◎この講座では、実技が充実していて、実際に体験することによって、体で覚えることができ、正確な知識を習得することができました。災害、事故、事件が起こった時に迅速な対応ができるように、災害に対する意識をもっと高めようと思いました。

(法3・女子)

◎私は東北出身であるので、先日の岩手と宮城における地震で、こういった災害が自分にとって常に身近なものとして存在しているのだということを痛感し、災害救援ボランティア講座に申し込んだ。今後はこの講座で得た知識を忘れず、いざ災害が起きた際に役立てたいと考えている。

(法3・男子)



震度7を体感

③三角巾の使い方は、普通にけがをした時でも、使えるように何度も覚え直そうと思う。また、サークルの友達と、防災館へ行って、楽しみつつも再び防災について考えていきたい。



乳児の心肺蘇生法

活用することは、何かあった時だと思うので、できれば活用したくないが、機会があれば監視員のアルバイトの友達と復習をしてみたり、教えたりしていきたい。もし何か起こった時、誰かの役に立ちたいと思うのはもちろん、自分が周りに面倒をかけないように気をつけていこうと思った。例えば人が目の前で倒れていたら…自分は手助けしなければならない、救わなければならないという意識で生活していけるよう、努力していくつもりである。

(法2・女子)

③まず、家族に災害についての知識を伝え、家庭での備えをしっかりしたいと思います。それから、友人や知人に伝え、災害に対する注意を促したいです。また、機会があればボランティアなどに参加し、少しでも多くの人の役に立てたらと考えます。今回この講座を受け、災害に対する意識が変わりました。この大切な知識・技能を今回だけ、また私だけのものにせず、これから、そしていろいろな人たちのために役立たせていけるよう、つとめていきたいと思っています。

(文1・女子)

③今回の講座を受けてみて、自分が災害に対しての意識が低いことを痛感しました。実際、災害に遭った時に、まず自分の身の安全を確保できるか、近くにいる人を助けられるのかを考えると不安になりました。今回の講座で身につけた知識・技能を生かせるよう、今後も知識や技能の再確認をし、友人や家族などにまず伝え、皆で災害への意識を高めたいと思います。災害は、いつ、どこで起きるかわからないので、災害への備えが必要だと感じました。今回、この講座を受講できて本当によかったです。

(法3・女子)

③私も大地震を経験したので、今回の講座は非常に役立つと思います。

このような機会はあまりないので、今後受講する機会があれば、より多くの人に受講してほしいです。そして何より受動的な住民としてではなく、自発的に参加し、立ち上がる「市民」として行動することが大切です。積極的に声を上げ、立ち上がり、そして手を差し伸べる勇気がこの講座で得られると思います。

(文1・男子)

③今回、災害についてさまざまなことを学び、驚いたり、ショックを受けたりもしました。今のこの気持ちや講座中に感じたことを忘れないように、定期的に防災について考える機会を持ちたいと思います。防災という点においては、我が家はかなり危険な状態なのでは…と感じたので、まずはそういった身近なところから学んだことを活かしていこうと思います。

(文4・女子)

③今回学んだことをこれから先何か起きたときに生かしていきたいです。家族にも学んだことを話していきたいです。今回この講座を受けたのと受けなかったのでは全く違うと思います。本当に勉強になりました。

(法2・女子)

上級救命講習会を後楽園キャンパスにて 9月24日に実施しました

中央大学学生部

上級救命講習会を受講して

理工学部3年 竹下 毅

昨年の秋口のことだった。私がいつも通り、いつもの電車に乗り、いつもの乗換駅のひとつ前まで来たとき異変は起こった。丁度私の真向かいに座っていた初老の男性がゴトツという音とともに床に崩れ落ちた。側頭部からは鮮血が流れ出していた。そばにいた女性が「大丈夫ですか?」と声をかけるが、反応はない。そのとき、おもむろに列車の扉は閉まり始めた。そこで初めて体が動いた。とにかく列車を止めよう、と。緊急事態を知らせるボタンを探し、迷わず押した。次に思ったことはどうやって運ぼうかということ。男性の体格からして、私なら十分運べると思った。今度はある男性が叫んだ。「救急車だ!」その言葉に私ははっと気がついた。何も私が搬送する必要はないんだと。その直後、扉が開き、駅員さんが駆け寄ってきた。男性は意識を取り戻し、ふらつきながらも歩いて行った。

このときに私の行動はベストではなかった。

何をしたら良いかまた何をすべきか分らず、途方にくれるばかりだった。次にいつ私がそういった場面に立ち会えるかわからない。そう考えると、救命救急の講習を受けておこうと思った。それが今回講習を受けるに至った理由である。

講習当日。時間どおりに参加者25名が集まった。7割方は学生で、残りは大学関係者だった。講習は説明を受けて、実技指

導の繰り返し。胸部圧迫法、AED 使用法、昼休みを挟んで傷病者の応急手当・搬送法の順に訓練を受けた。昼休み以外は10分のトイレ休憩のみで、参加者は集中して講習を受けていた。私も全ての講習を受け終えたときにははくたくただった。

全体を通して、単純で効率的な方法を選択して受講者に指導しているのでも一つ一つの処置は少し練習すれば簡単に身につくものだったように思う。AED にしても、使用は実に簡単だった。とはいえ、現物に触れる機会がなければ、いざ現場に居合わせたとしても AED を使用するという選択肢が頭に浮かぶとは思えないし、操作もぶっつけ本番では正しく使用できる自信はない。そういう意味で、貴重な体験が出来たと思う。

災害などで傷病者の手当を一般人が行う場面はこれからあると思う。そのとき何ができるか。私はその場で立ち尽くすしかできない人ではありたくない。もし私一人でも動けば助かる誰かがいるならば、協力しようと思う。



中央大学杯スポーツ大会（学生部主催）

中央大学学生部

10月11日、12日の2日間にわたり、学生部主催の中央大学杯スポーツ大会が実施されました。ソフトボール、バスケットボール、バレーボール、ミニサッカーの4種目が行われ、全種目を合わせ300近くのチームが参加し、普段の練習の成果を発揮していました。1日目の朝は少し雨が降りましたが、天候も回復し、選手たちは清々しい汗を流していました。以下は、ミニサッカー、ソフトボールの各優勝チームからの報告です。

2008年度 スポーツ大会 受付状況(参考)

種 目	参加チーム数	申込チーム数
ソフトボール	56	102
バレーボール	64	134
バスケットボール	64	136
ミニサッカー	95	147

スポーツ大会に参加して

経済学部3年 大澤 隆徳

私たちは中央大学体育同好会連盟フースバルクラブのメンバーです。チーム名は「同志社三ツ葉キッカーズ」ですが、メンバーは全員中央大学に通う学生です。私たちが今回中央大学杯スポーツ大会に参加した理由は、サークルでの思い出をひとつでも多く作りたいという思いか

ら参加しました。特に3年生は、これから就職活動が始まり、1、2年生や4年生となかなか触れ合う機会がなくなってしまうので、非常に気持ちが入っていました。また参加するからには、サッカーサークルとしてのプライドを保つためにも上位は全てフースバルにしようという目標を定めました。



ミニサッカーの部優勝「同志社三ツ葉キッカーズ」

スポーツ大会では初日の午前中こそ雨でしたが、それ以降は快晴になり、非常に恵まれた天候の中でサッカーをすることが出来ました。また、雨が降ってもグラウンドに水が溜まったりするようなことはなかったので、このようなグラウンドが学内にあることは私たちが中央大学生にとって非常にありがたいことでした。この場をかりてお礼を言いたいと思います。試合の方ですが、初日はシードだったので1試合しかなかったのです

が、その試合は完勝といっても過言ではありませんでした。2日目は初日を勝ち残ったチームで、尚且つ試合の間隔が狭くなり休憩時間も少なく、体力的にも厳しい状況でした。しかし私たちはサッカーサークルですが、夏休みは週に5日ほど練習していたので、特に問題はなく試合では相手を圧倒し、終わってみれば失点0で優勝することが出来ました。また、優勝以外にも2位と3位も私たちのサークルで構成されたチーム「立教サッカー愛好会」「普天間基地」であったので、大会参加前に掲げた目標を達成することができました。例年、この大会の主役であるオールラウンドサークルの方々に多少恨まれも(笑)しましたが、私たちにとっては良い思

い出になりました。来年もこの大会に参加したいと思います。

普段、キャンパスで顔を合わせている人たちとこのような場で、真剣勝負の試合をし、交流をはかれたことはとても良いことだと思います。それと同時に中央大学には本当にたくさんさんのサークルがあるのだと感じました。特にオールラウンドサークルの規模はすごかったです。彼らのサークルの雰囲気作りには学ぶものがあつたので、それを私たちのサークルで活かしたいと思います。最後になりましたが、このような場を与えてくれた学生部の方々、そして中央大学に通わせてくれている両親に一言。

ありがとう

中央大学杯スポーツ大会 ソフトボールの部優勝

経済学部2年 有江 唯真

毎回参加している私たちは、未だ、優勝がなく、最高で準優勝止まりでした。春の新生生歓迎白門祭のスポーツ大会も準決勝で負けてしまい、今回は、代替わりした初めての大会だったので、かなり意気込での参加でした。初日は、雨が降ったりやんだりの悪天候の中、第一試合でみんなの集まりが悪く大変でしたが、なんとか勝ち上がり、二日目に続きました。天気も回復し、グラウンドもよかったです。やはり、二日目になると、相手チームも強いチームばかりで、今まで他の大会で試合を何度もしてきたチームとも戦いました。しかし、順調に勝ち上がり、ロケッツとの決勝になり、盛り上がりました。決勝戦は七イニング制になり、打線がつながり、守りも堅く、白熱した試合を制し、我々イッツが勝ち、優勝しました。

チームのみんなも大変うれしそうでした。四年生は、最後のスポーツ大会で、かなり気合も入っていて、声を出したり、プレーでずっとチームを引っ張って行ってくれました。三年生は、就職活動が始まり、忙しい中来てくれて、チームをまとめて

くれました。二年生は、自分たちの代ということもあり、最初は、緊張もしていましたが、試合を重ねるごとに緊張もとけていき、自分たちらしいプレーが出来ました。一年生は、春の新生生歓迎白門祭に続き二回目のスポーツ大会でしたが、のびのびとやってくれて、元気でした。そして、何十人もの方が、応援に駆けつけてくれました。一球、一球に大きな歓声を上げていただき、選手のみんが、気持ちよくプレーすることが出来ました。いろいろな人に支えられてできた優勝で、最高でした。



ソフトボールの部優勝「柔球」

